

一昨年度から続く新型コロナウイルス感染症は、昨年、ワクチン接種効果により一旦落ち着きかけましたが、オミクロン株の発生と共に、これまでにないレベルで猛威を振るっています。

今回、特徴として学校等での子供や若年者の感染が多くみられ、家庭などから広がり陽性者が続発しています。私たちは、これまで感染予防対策に細心の注意を払いながら運営を図ってきましたが、再確認、周知の徹底を呼び掛ける以外に対策の打てない、やりようのない限界感がある中、不安なまま毎日運営を続けております。

コロナ禍による影響が当法人に実害としていくつか発生いたしました。昨年度、各種事業運営の中、デイサービスが大幅な利用者数の減少により赤字になったことや、ミャンマーからの外国人技能実習生が昨年末に訪日予定でしたが、未だに目途が立っていません。また、昨年、友江駅前の事業「地域密着型デイサービス併用介護職員等宿舎」の建設が始まりましたが、建築資材及び電子部品の遅れと建設に携わる人がコロナ感染するなど大きな遅れが生じています。

令和3年度の介護報酬改定の目玉、厚労省の施策「科学的介護の推進」として、データの収集と利活用することで介護サービスの効率化、効果的な展開や見直し、膨らむ保険給付の抑制を図るなどの目的に導入された「LIFE(データベース)加算」があり取り組みました。

当初から難しさを予想しておりましたが、膨大な情報の入力作業や厚労省の説明不足と情報の遅れから、錯綜、混乱、調査並びに事務の煩雑さも重なり負担増となって非常に苦勞を強いられました。

昨年度、当法人では国のICT補助金の許可を受け整備が始まりました。今年度は、WIFI環境、ケアパレット、タブレット、インカムなどが整備と共に、セキュリティーを担保した上で情報や記録の電子化と保存、ペーパーレス化やコミュニケーションツールとして活用が始まります。これらのIT技術を駆使することで業務の効率化と省力化、職員の負担軽減に期待をしています。

今年度の法人の重点的な課題と活動としては、まず、「地域密着型デイサービス併用介護職員等宿舎」を上手く軌道に乗せることにあります。特に地域密着型デイサービス（機能訓練特化型デイサービス）、名称「シニアフィットネスデイ ここから」は、高齢者の健康増進及びフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）・介護予防対策、健康寿命の延伸を目的に、各種機器を使う機能訓練やリラクゼーションなど、半日（短時間）の利用で比較的軽度の方が対象の事業が始まります。

二番目に既存の「友和苑デイサービス」の昨年度利用者数が非常に落ち込みましたので、サービス内容を改善して回復を図ります。また、既存と新設のデイサービスの周知と啓蒙を図り特徴づけを明確にして、二つのデイサービスを利用することで様々なニーズを網羅していきたいと考えています。

三番目は例年掲げている「人材の確保と育成」になります。介護人材不足は、事業運営の根幹、経営の継続と安定に不可欠なことから、待遇及び求人方法等に工夫を凝らさなくてはなりません。昨今、求職者は人材紹介や派遣会社を活用して就職先を決める方が多くなっています。その反面、読者の減少や手間等で新聞チラシ広告やハローワークでの採用は少ない状況にあります。そのため、インターネットの活用、HPの充実、SNSを駆使することは時代の流れと言えます。

まだまだ課題は多くあり十分ではありませんが、令和4年度も本法人は利用者様、家族様、地域の皆様のセーフティネットとして役割を担いながら、より良いケアの提供に職員一同努力を続けて、安全・安定した経営に努めて参ります。

様々な課題を踏まえて、以下の通り、取り組んで参ります。

<行動目標>

1. 人事管理

1) 人材の安定的な確保（重点）

①介護等福祉人材の確保

<令和4年度採用予定者>

- ・介護職員：4 / 1. 3名（高校新卒者）
- ・外国人技能実習生（介護人材）
新型コロナのため入国未定（内定済み）、ミャンマー人3名
- ・シニアフィットネスデイ ここから（地域密着型通所介護）
機能訓練指導員（理学療法士・正職1名）、看護職員（パート1名）、介護職員（パート2名）

<令和4年度新卒・中途採用計画>

- ・新卒者の確保、中途採用の雇用促進
介護職員、看護師（正職・パート）、管理栄養士（正職・パート）、厨房職員（パート）
機能訓練指導員：理学療法士、作業療法士、柔道整復師など
- ・外国人技能実習生（ミャンマー人、継続採用2～3名）

②職員の離職防止（目標管理や個別面談、随時相談の実施）

- ・処遇の改善（福利厚生の充実）

2) 介護等人材の資質向上（重点）

①資格取得の推進

- 喀痰吸引研修（介護職員）、喀痰吸引研修指導者研修（看護師）、初任者研修、介護福祉士資格取得者、認知症実践者・リーダー研修、認知症対応型サービス事業管理者研修の支援・確保促進
- ・資格取得のために要する金銭的支援（貸付制度）
- ・eラーニング、web研修の活用

②スキルアップ

- ・介護キャリア段位制度の確立（個人の知識と実践技術、実践スキルのレベル評価）
- ・新人職員の研修体制の充実（OFF-OJT,OJT のプログラム見直しと再作成）
- ・中堅職員研修（スキルアップ、次期指導者の養成カリキュラム）
- ・外国人技能実習生、日本語及び介護技術研修 日本語能力検定試験2級・3級取得

3) 職員教育システムの充実（人材のスキルアップ）

①施設内研修

<階層別研修>

- ・新入職員研修（基礎研修）、フォローアップ研修、中堅職員研修、指導者研修（リーダー）、管理者研修（主任、課長）、分散研修（OJT）
- ・技術的研修（介護技術、緊急時の対応、感染症対策、喀痰吸引等）
- ・全体勉強会（毎月）の充実（内部・外部講師の活用、全職員対象）

②施設外研修

- ・専門的研修（OFF-OJT）
- ・認知症実践者・リーダー研修、実習指導養成研修、介護支援専門員、喀痰吸引等の研修、看護・介護・相談員のスキルアップ研修、介護キャリア段位アセッサー研修、その他（自己啓発研修の支援）

2. 養成校等実習生の実習受け入れ及び指導

- ・資格別の受入・指導体制の充実
介護福祉士、社会福祉士、初任者研修、管理栄養士、歯科衛生士、インターシップ、失業者対策等

※ 1～2は、新型コロナウイルス感染の状況等により中止・延期・制限、研修内容及び方法など変更します。

3. 改修工事及び設備機器の修理・更新

1) 従業員の負担軽減

- ・法人
女子職員トイレ改修工事1カ所（和式から様式便座へ）
- ・特養
スチール多機能車椅子2台、セミモジュラー車椅子3台、チルト&リクライニング車椅子2台、低床3モーター電動ベッド15台
- ・事務所（職員）
事務職員制服更新 4人分

2) 利用者の環境等改善

- ・特養
予防マットレス20枚（エアマット代替え）、ダイニングテーブル4台・チェア5台
- ・ケアハウス
一般浴槽・浴室改修工事
- ・デイサービス
全身運動機器（クロスステップ OG 技研）1台

3) 設備・器具の新設・更新

- ・厨房
食器（温小鉢）240個（劣化のため交換）

4. 理念やニーズに基づく福祉サービスの実現

1) サービスの質の向上

- ・介護計画（ケアプラン）の充実（個別ケア、自立支援、生活視点を重点に置いたもの）
- ・家族会、満足度調査の実施・充実

2) 法人情報の公開・発信（PR、透明性の確保）

- ・ホームページ、SNSの充実（法人・事業情報の公開、利用者獲得、求人等人材確保多様な情報の発信）

3) 社会貢献（地域貢献）事業

- ・オレンジカフェ（コミュニティーカフェ）の継続運営

5. 経営基盤の強化及び整備の計画（重点）

1) 新設及び変更計画

①友江駅前複合施設建設の竣工

地域密着型デイサービス併設職員寮新築工事 鉄骨3階建て

(1F; 地域密着型通所介護、1F一部、2～3F職員寮)

- ・地域密着型機能訓練特化型デイサービスの事業開始 (定員15名)

名称 シニアフィットネスデイ ここから

- ・職員寮: 18室(20名)入居開始

※介護職員の宿舍施設整備事業活用(一人当たり25㎡の建設費1/3補助)

②令和4年度介護ロボット・ICT導入補助金(3/4補助)の業務活用(計画)

- ・WIFI工事

- ・特養

インカム17台、ケアパレット(ほのぼの記録システム・アプリ)2台、タブレット2台、ほのぼの連動体温計2台・血圧計2台・パルスオキシメーター2台

- ・ケアハウス

ケアパレット2台、タブレット2台、モビコネクト(デバイスセキュリティープラン)2台

- ・グループホーム

ケアパレット2台、タブレット2台、モビコネクト()2台

- ・デイサービス

ケアパレット2台、タブレット2台、モビコネクト()2台

2) 各事業の運営について(安定充実、加算の取得、利用率向上など)

共通する事項

- ・新型コロナウイルス感染予防対策及び感染、クラスター対策(BCPの策定)
- ・科学的介護の推進、「LIFE加算」算定とデータベースの利活用
- ・地域との防災等の連携構築

①特別養護老人ホーム

- ・協力医療機関との連携強化

医療ニーズへの対応に関する見直し(確保と強化)

- ・ネット環境、ICT、IOT(タブレット)の活用、介護ロボットの活用の検証・導入

②短期入所生活介護(ショートステイ)

- ・ベッド(10床)有効活用

- ・利用率の向上(特養空き室の有効利用)

③通所介護(デイサービス)

- ・利用者数及び利用率の向上(PR活動、情報収集)

- ・サービス内容の充実・改善

④認知症対応型共同生活介護(認知症グループホーム)

- ・入居率向上(PR活動、情報収集)

- ・地域との相互関係の強化

- ・運営推進会議の充実、防災訓練、自治会との相互交流の促進

- ・地域密着型サービス外部評価受審（年一回）

⑤ケアハウス

- ・入居率向上（PR活動、情報収集）
- ・入居者サービスの向上

3) コスト削減

- ・人件費以外の経費の見直し（無駄の削減）、電力削減（デマンド監視・検証）

4) BCP ハイブリッド型（事業継続計画）の策定、周知、訓練の実施

5) 職員の処遇改善、人材確保対策、及び適正な評価の仕組み

- ・キャリア段位制度の確立
- ・岐阜県介護職員育成事業者認定制度 グレード1 認定取得

6. その他

<利用者定員>

入所施設		居宅サービス		相談事業	
特別養護老人ホーム	90名	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護	10名	在宅介護支援センター	
ケアハウス	30名	通所介護	月～土	30名	居宅介護支援事業所 ケアマネ 4名
		介護予防・日常生活支 援総合事業	日	25名	
		認知症対応型共同生活介護		18名	
		地域密着型通所介護 介護予防・日常生活支援総合事業		15名	

<令和4年度 役員会>

- 第1回 理事会 令和4年5月下旬 友和苑地域交流室
- 第2回 理事会 令和4年10月中旬 友和苑地域交流室
- 第3回 理事会 令和5年3月中旬 友和苑地域交流室

<令和4年度 評議員会>

- 定時評議員会 令和4年6月中旬 友和苑地域交流室
- 臨時評議員会 令和4年11月上旬 友和苑地域交流室
- 臨時評議員会 令和5年3月下旬 友和苑地域交流室

<令和4年度行事等計画>

◎夏まつり・・・夏まつりを通じて、入所者、利用者、家族、地域との交流できる機会を計画する。

令和4年8月

◎敬老会・・・家族と入所者、職員と一緒に、入所者の敬老をお祝いする行事を計画する。

※対象施設 特別養護老人ホーム・通所介護（地域密着型）・短期入所・ケアハウス・グループホーム

令和4年9月

◎高齢者作品展・・・入所者、利用者の方々が、一生懸命取り組まれた作品を展示し、家族、

地域の方々観覧していただく機会として計画する。 令和4年11月

◎年末大掃除・・家族に参加を呼び掛け、年末に職員も一緒に入所者の居室の掃除を計画し
家族と職員が共同作業を行い、交流を深める場として計画する。

※対象施設 特別養護老人ホーム・ケアハウス・グループホーム 令和4年12月

<施設満足度調査>

利用者または家族を対象に施設を利用していただく上での満足度調査を無記名方式にて実施し、サービスの質の向上に繋がるように取り組むため計画する。

- | | |
|--------------------|---------|
| ・特別養護老人ホーム | 令和4年7月 |
| ・在宅サービス（短期入所・通所介護） | 令和4年7月 |
| ・ケアハウス | 令和4年7月 |
| ・居宅介護支援事業所 | 令和4年12月 |

<介護予防教室>

大垣市から委託を受け、在宅等で生活されている高齢者もしくは家族に対して情報を発信し
介護予防につながるように計画する。 ※令和4年度 年間5回計画

<地域ケア会議への参加>

「いきいきサロンにおける認知症啓発」「団地孤立化対応」など、大垣市役所の地域包括支援
センターと連携し、地域ケア体制づくり（早期発見・早期対応できる相談、支援体制）に取り組
むこととする。

<講師派遣>

大垣女子短期大学、西濃高等特別支援学校等に介護福祉士、歯科衛生士などの職員を講師として
派遣する。

<介護支援専門員実務研修見学実習の受入れ>

平成28年9月1日に介護支援専門員実務研修見学実習の受入事業所として登録し、今後
介護支援専門員実務研修見学実習を積極的に受け入れていく。

<情報の開示>

平成29年4月施行の社会福祉法人制度改革に伴い、法人の事業運営の透明性の向上とし
て財務諸表の公表等について法律上明記された。ホームページに定款、財務諸表、現況報
告書、役員報酬基準を公表する。また、決算資料を事務所へ備え置き、誰でも業務時間内
において閲覧できるように取り組む。

※理事会、評議員会及び各行事等については、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い
開催方法の変更や中止する場合があります。